

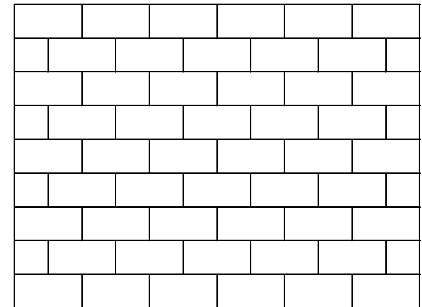
景観アドバイザー関係資料

本事業では令和4年3月に「景観アドバイザー」より全体景観について意見聴取を行っています。
下記項目は必須要件ではありませんが、参考とし、意見を踏まえて提案の検討を行って下さい。

1. 広場の外構床面について（全体景観）

※建物周囲はインターロッキング想定、園路部分は透水性コンクリート想定

- ・色彩は無彩色をベースにコントラストを抑えた配色とパターンデザインが望ましい。
- ・2色のほうが落ち着いた印象になりパターンをつけてもうるさく感じない。シックで重厚な感じにするか明るく軽やかな感じにするかは広場の使い方やどのような印象にしたいかで変わってくる。
- ・並べ方のパターンはランダムではなく、右図の方がよい。
- ・園路部分と建物周囲（インターロッキング想定）を同系色にすると、広場内が広く感じられ、芝生が強調される。

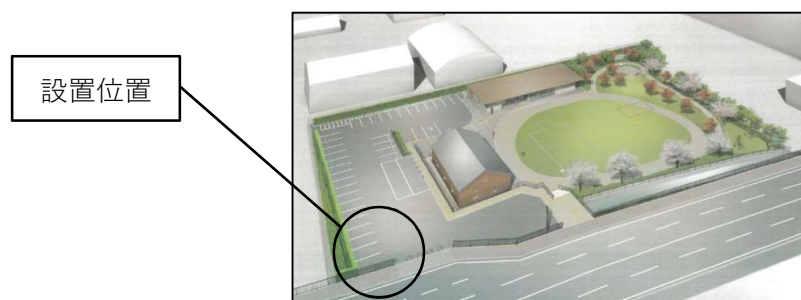


2. 新築建物の外観色について（煉瓦倉庫をメインとして強調するための配色）

- ・煉瓦倉庫を引き立たせるためには、新築の建物は建物周囲（インターロッキング想定）と同系色がいい。
- ・煉瓦倉庫に外観を似せようとすると変に違和感が出てしまい、失敗しやすい。

3. 出入口サインについて

- ・伝統的な文化財の煉瓦倉庫なのでベースは深い色合いがよい（茶・深い緑・藍色・黒）など。
- ・文字は白系がよい（ベースの色を白系にすると軽い感じになってしまう）
- ・車で通りながら見る文字は一般的にはゴシック体のような太さが同じ文字のほうが認識しやすいと言われているが、大きさがあるので太文字であれば明朝体のような書体でもよい。
- ・設置位置は、右折進入禁止で駅方面からの来訪を考えれば、手前（駅側）に設置する方がよい。
- ・手前に柵があるため、柵の高さ以上に文字が来るようにする。



※詳細な議事録等は優先交渉権者に公表予定